

資料

平成 26 年度 札幌市研究開発事業「性に関する意識・実態調査」結果

1 調査の目的

札幌市における性に関する指導の充実を図る上での基礎資料を得ることを目的として中学生、高校生の性に関する意識及び高校生の性行動に関する調査を実施する。

2 調査の経緯

本調査は平成 16 年と平成 20 年に実施しており、過去の調査概要は以下のとおりである。

平成 16 年：中学校、高校共通 20 項目（普段の生活、性についての考え、性に関する知識、性感染症、妊娠、避妊や出産、人工妊娠中絶について）、高校のみ 15 項目（性行動について）

平成 20 年：中学校、高校共通 29 項目（自分自身と家族・家庭について、性についての考え、性に関すること、性感染症、妊娠、避妊や出産、人工妊娠中絶について）、高校のみ 20 項目（性行動について）

3 調査期間

平成 26 年 10 月 14 日～11 月 14 日

4 調査対象

札幌市立中学校 20 校（全 97 校の中から抽出）の第 3 学年の生徒 在籍数 3,270 人（男子 1,689 人・女子 1,581 人）

札幌市立高等学校全日制普通科 6 校の第 2 学年生徒 在籍数 1,839 人（男子 822 人・女子 1,017 人）

5 調査項目

- ・調査項目は、社会の変化に伴う性に関する新たな問題（SNS によるトラブルやデート DV など）や札幌市の課題である性感染症の罹患及び人工妊娠中絶が全国平均を上回っている現状等を踏まえるとともに、結果の経年比較を行うために、前回調査（平成 20 年実施）の内容を基本として精選し、一部新たな項目を追加
- ・中学校、高等学校共通項目 18 項目（自分について、自分と家族・学校、性についての考え、性に関すること、性感染症、妊娠、避妊、デート DV）、高等学校のみ 17 項目（性行動について）

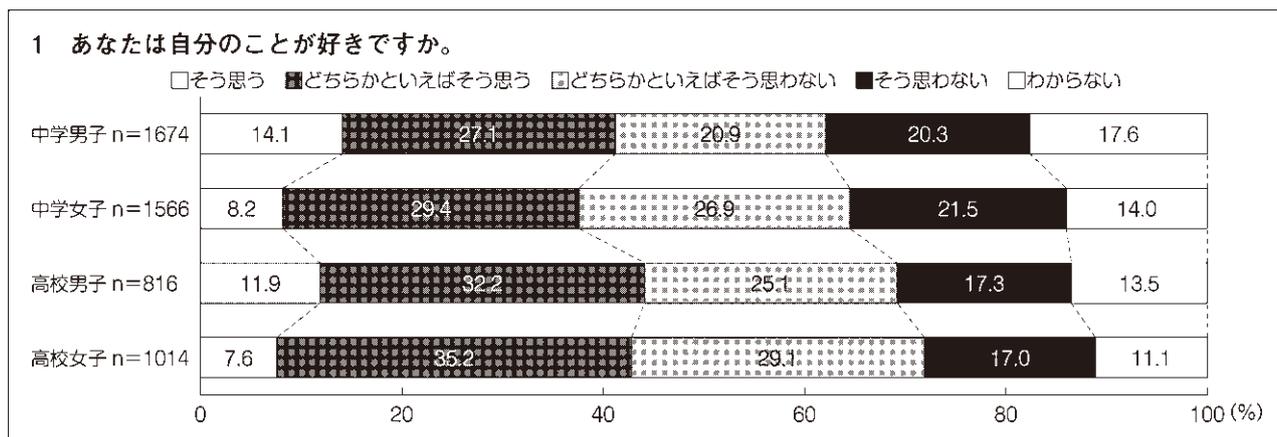
6 調査結果

性に関する意識に関する調査項目（中・高共通）及び性行動に関する調査項目（高のみ）の中から、今後の指導の参考となる主な結果を掲載している。

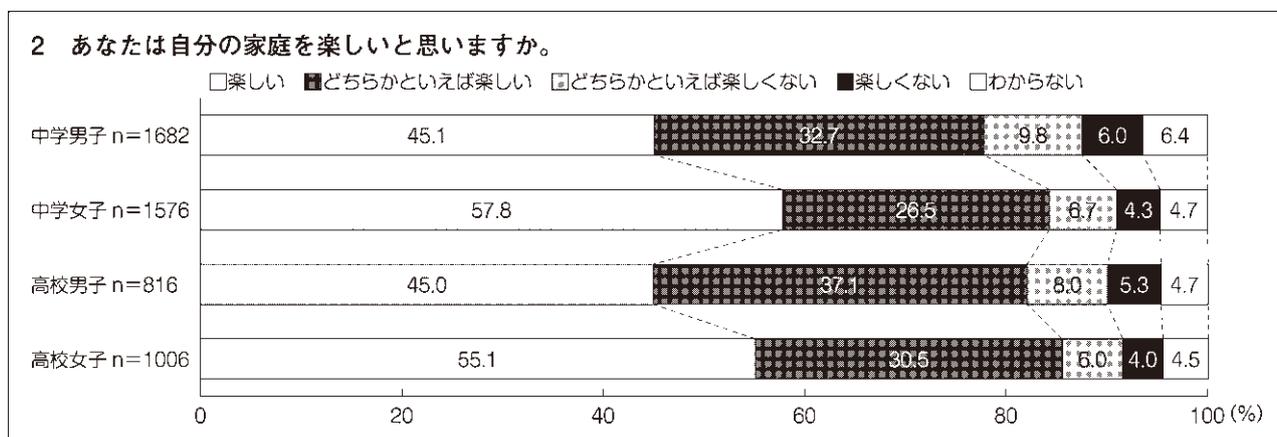
注 1）各調査項目に対する回答数（n=〇〇）については、無効回答、無回答を除いた有効回答数である。

注 2）各調査項目のタイトルの後ろに「(新)」とあるものは、今回新たに加えた調査項目である。

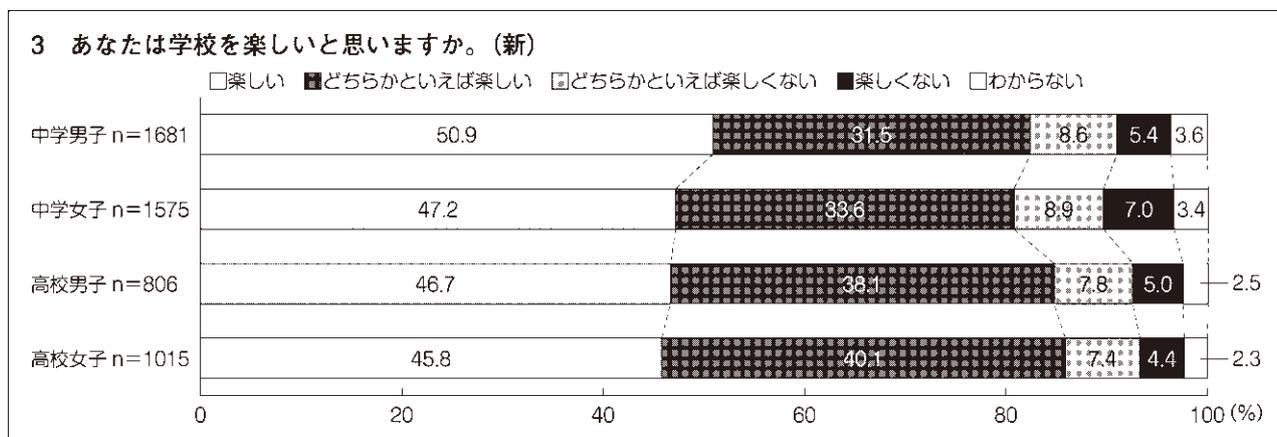
調査結果（中学校、高等学校共通項目）



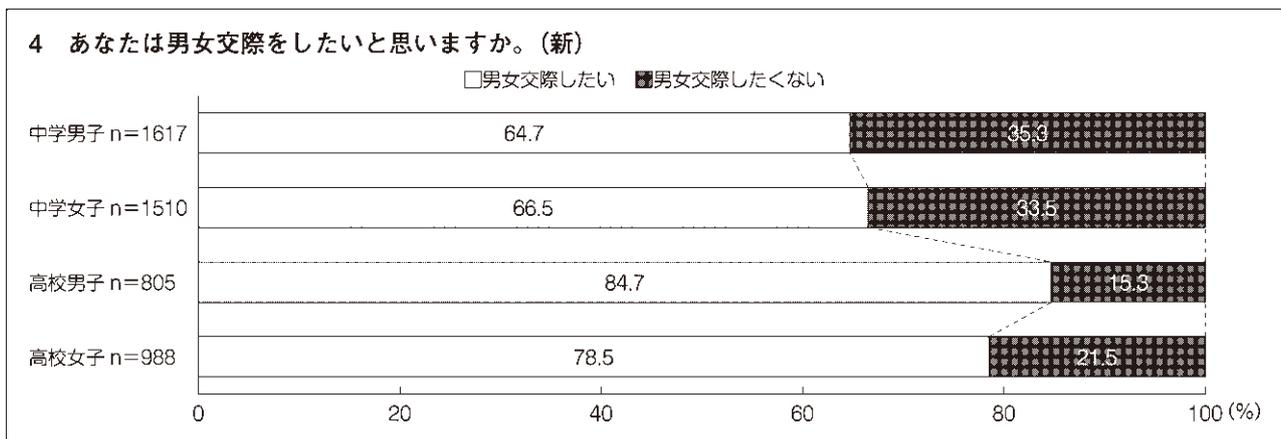
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「自分のことが好き」の回答及び平成20年との比較では、中学男子 32.2% (H20)→41.2% (H26)、女子 28.6% (H20)→37.6% (H26)、高校男子 40.1% (H20)→44.1% (H26)、女子 42.2% (H20)→42.8% (H26) となっている。



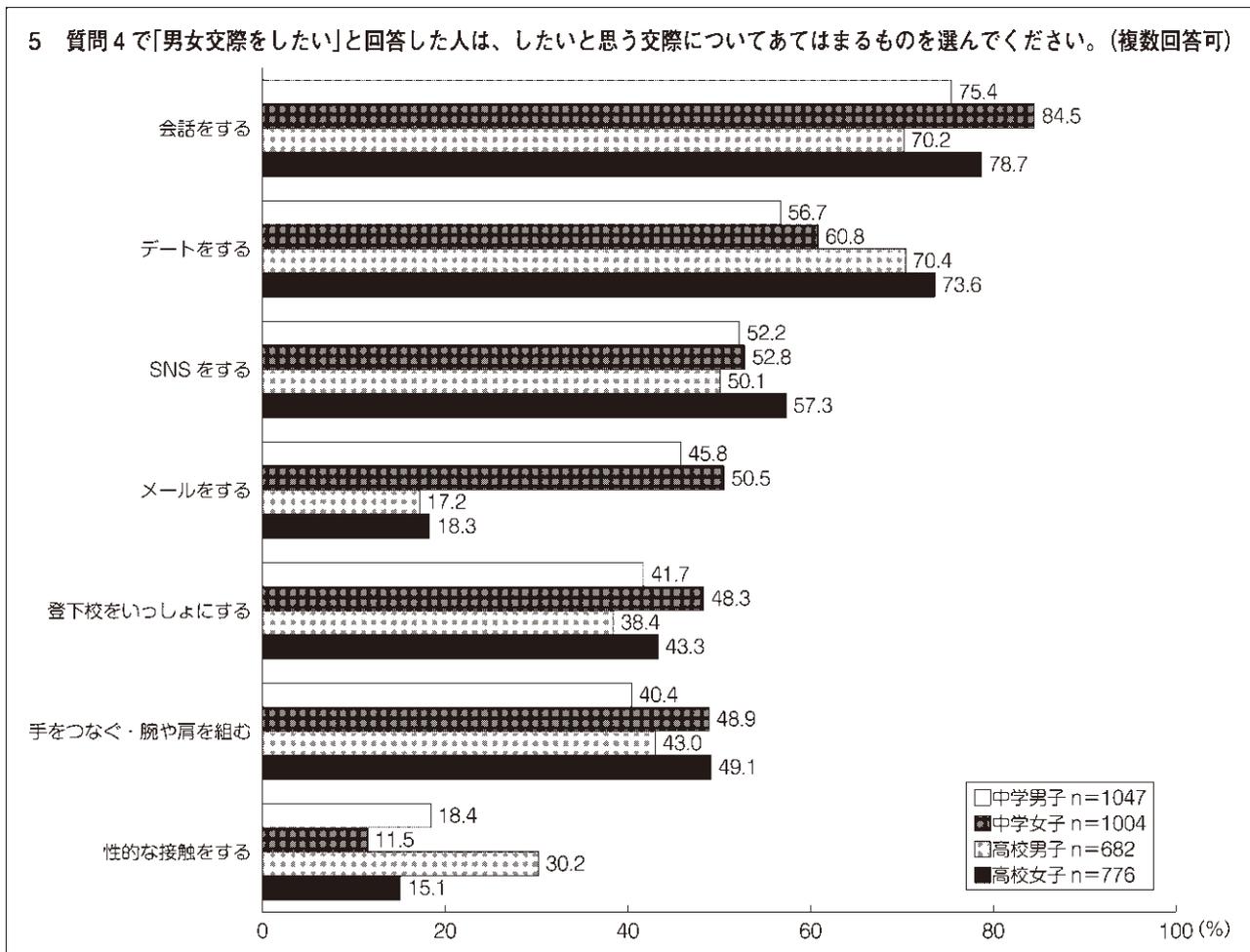
「楽しい」「どちらかといえば楽しい」を合わせた「自分の家庭は楽しい」の回答及び平成20年との比較では、中学男子 77.4% (H20)→77.8% (H26)、女子 84.3% (H20)→84.3% (H26)、高校男子 81.6% (H20)→82.1% (H26)、女子 88.9% (H20)→85.6% (H26) となっている。



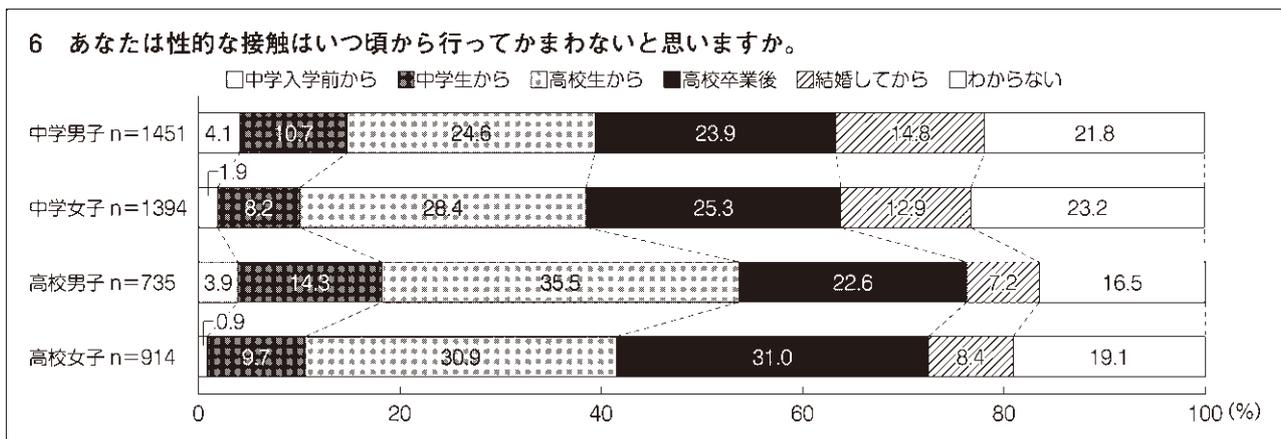
「楽しい」「どちらかといえば楽しい」を合わせた「学校が楽しい」の回答は、中学男子 82.4%、女子 80.8%、高校男子 84.8%、女子 85.9%となっている。



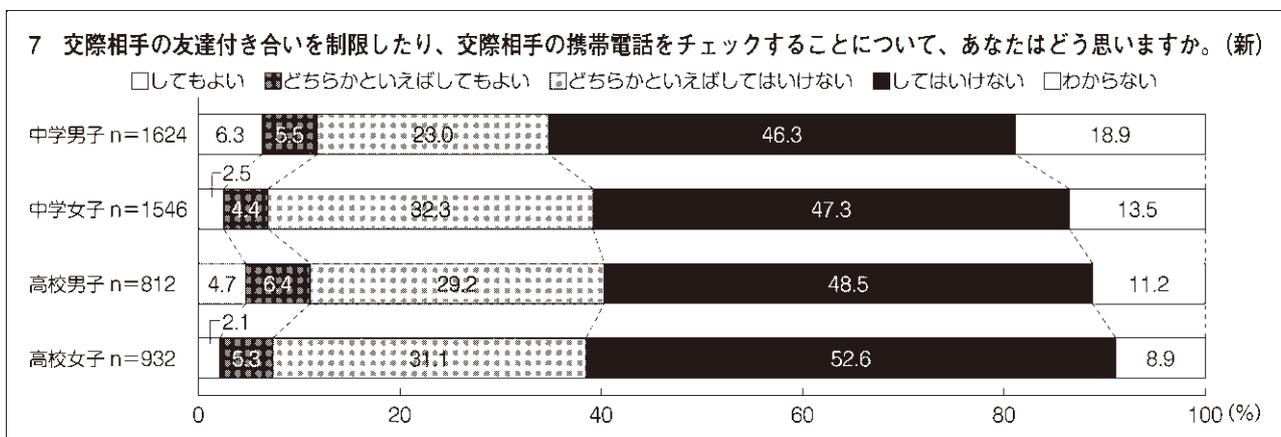
「男女交際したい」の回答は、中学男子 64.7%、女子 66.5%、高校男子 84.7%、女子 78.5%となっている。



割合の高い順に、中学男女は「会話」「デート」「SNS」「メール」、高校男女は「会話」「デート」「SNS」「手をつなぐ・腕や肩を組む」となっている。

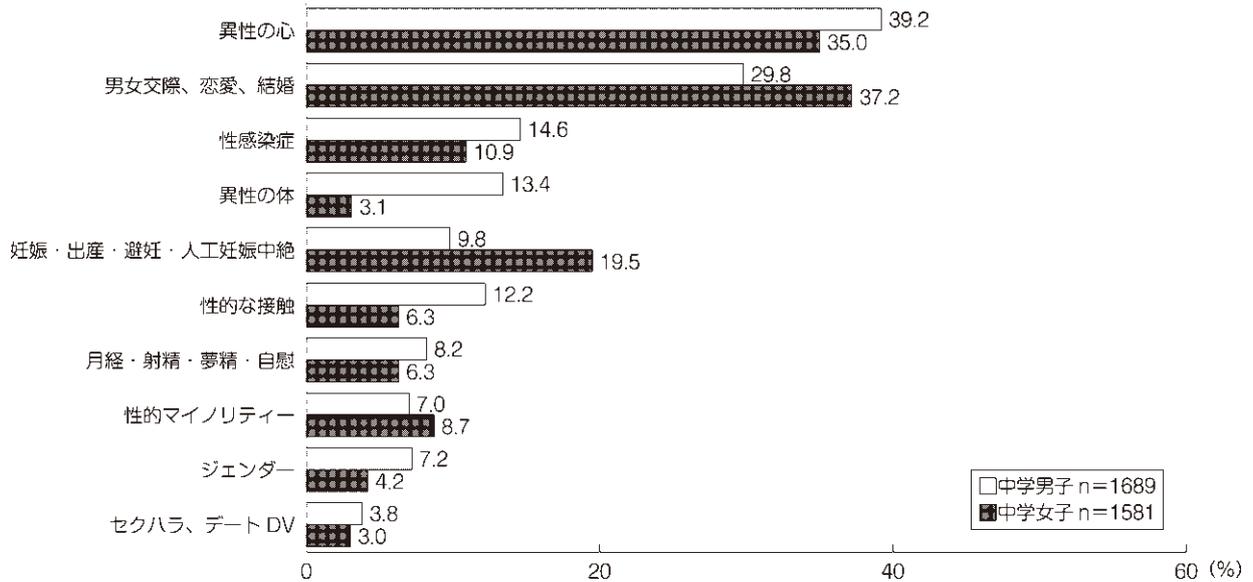


割合の高い順に、中学男女は「高校生から」「高校卒業後」「わからない」、高校男子は「高校生から」「高校卒業後」「わからない」、高校女子は「高校卒業後」「高校生から」「わからない」となっている。

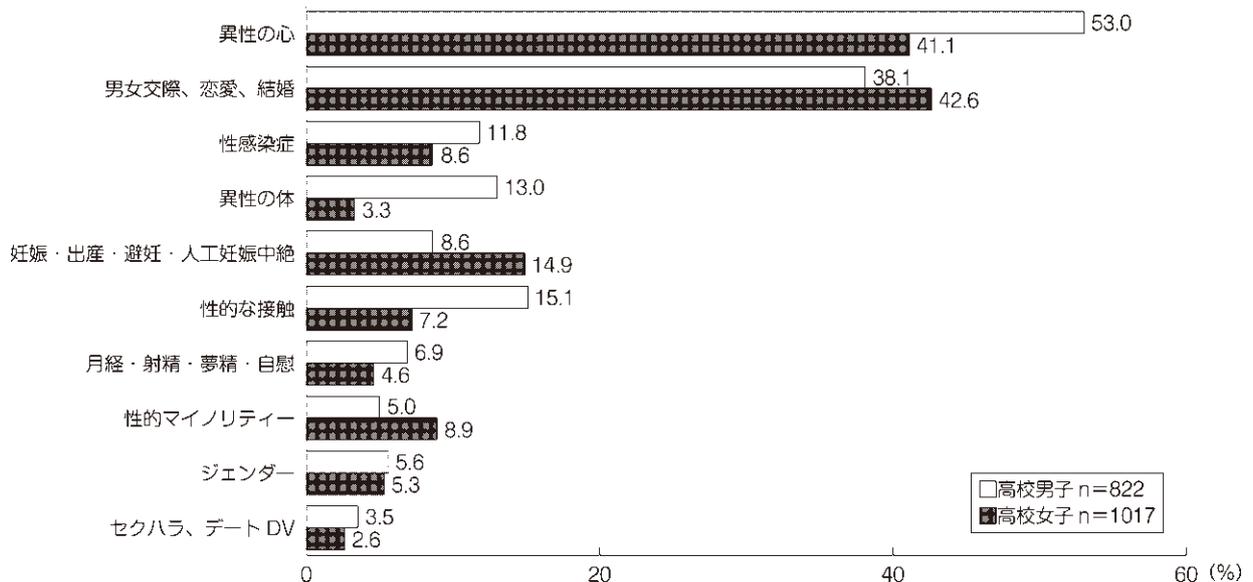


「してもよい」「どちらかといえばしてもよい」を合わせた「してもよい」の回答は、中学男子11.8%、女子6.9%、高校男子11.1%、女子7.4%となっている。

【中学生】 8 性に関する項目の中で、あなたがもっと詳しく知りたいと思うものはありますか。(複数回答可)



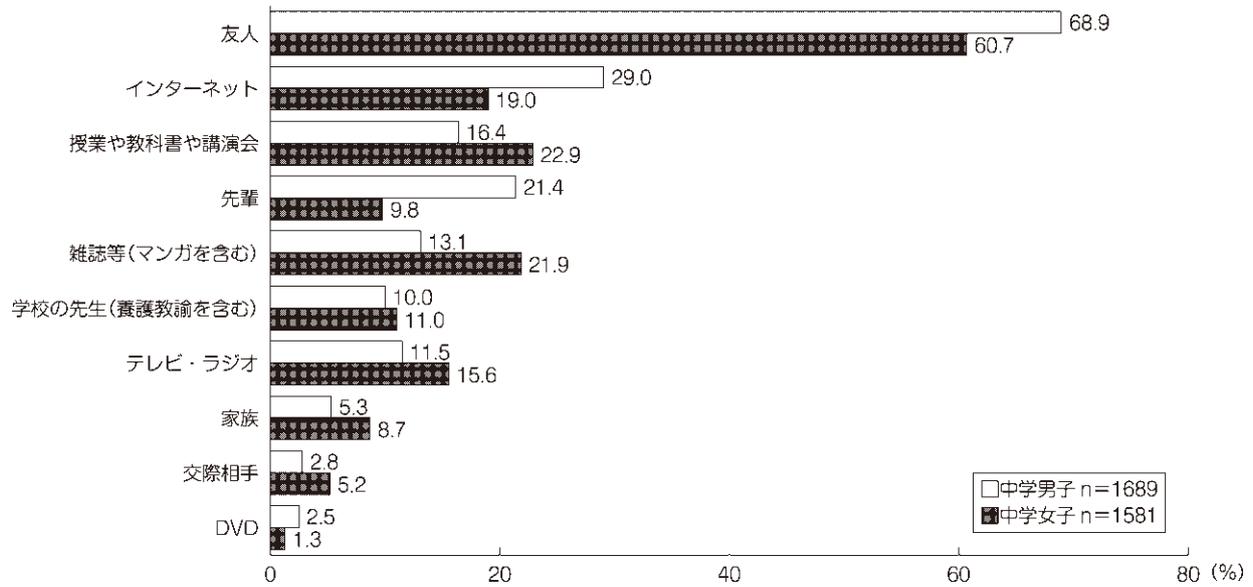
【高校生】 8 性に関する項目の中で、あなたがもっと詳しく知りたいと思うものはありますか。(複数回答可)



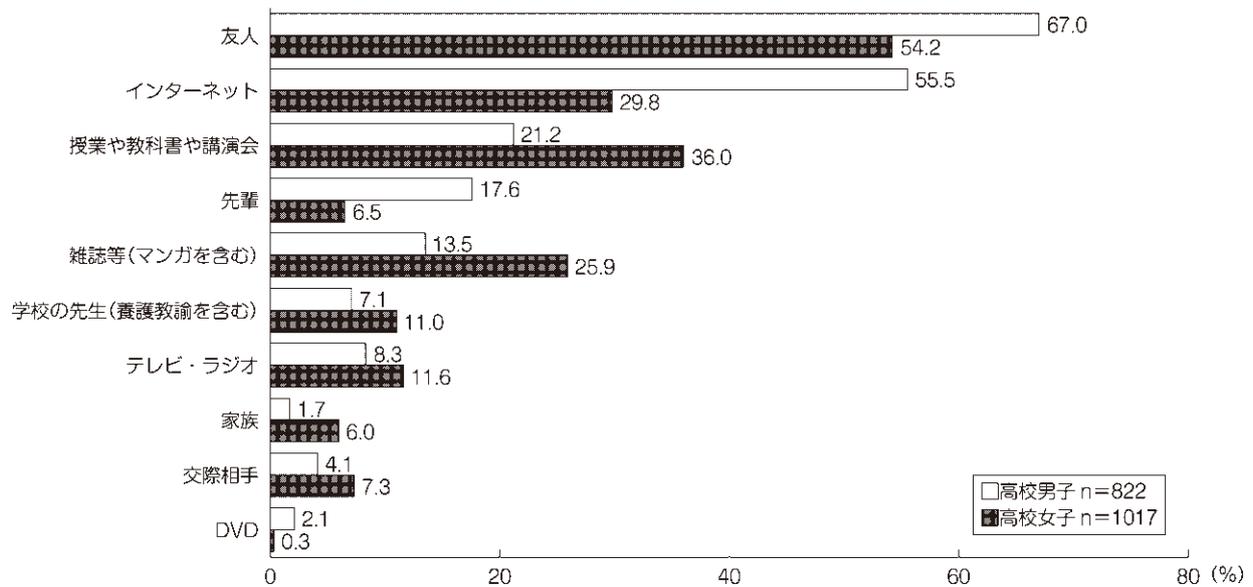
中学生では、男女とも「異性の心」「男女交際、恋愛、結婚」と回答した割合が高い。平成20年との比較では、「異性の心」は男子33.8% (H20)→39.2% (H26)、女子34.1% (H20)→35.0% (H26)となっている。

高校生でも、男女とも「異性の心」「男女交際、恋愛、結婚」と回答した割合が高い。平成20年との比較では、「異性の心」は男子46.1% (H20)→53.0% (H26)、女子40.5% (H20)→41.1% (H26)、「男女交際、恋愛、結婚」は男子30.4% (H20)→38.1% (H26)、女子32.3% (H20)→42.6% (H26)となっている。

【中学生】 9 あなたは性に関する知識をどこから得ていますか。(複数回答可)



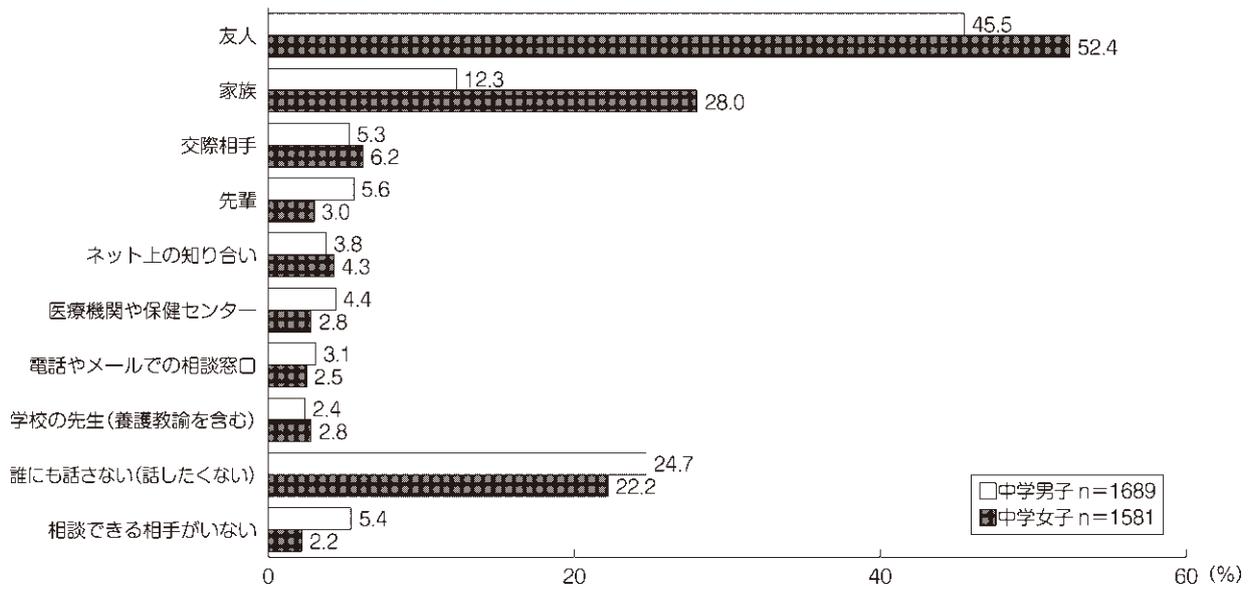
【高校生】 9 あなたは性に関する知識をどこから得ていますか。(複数回答可)



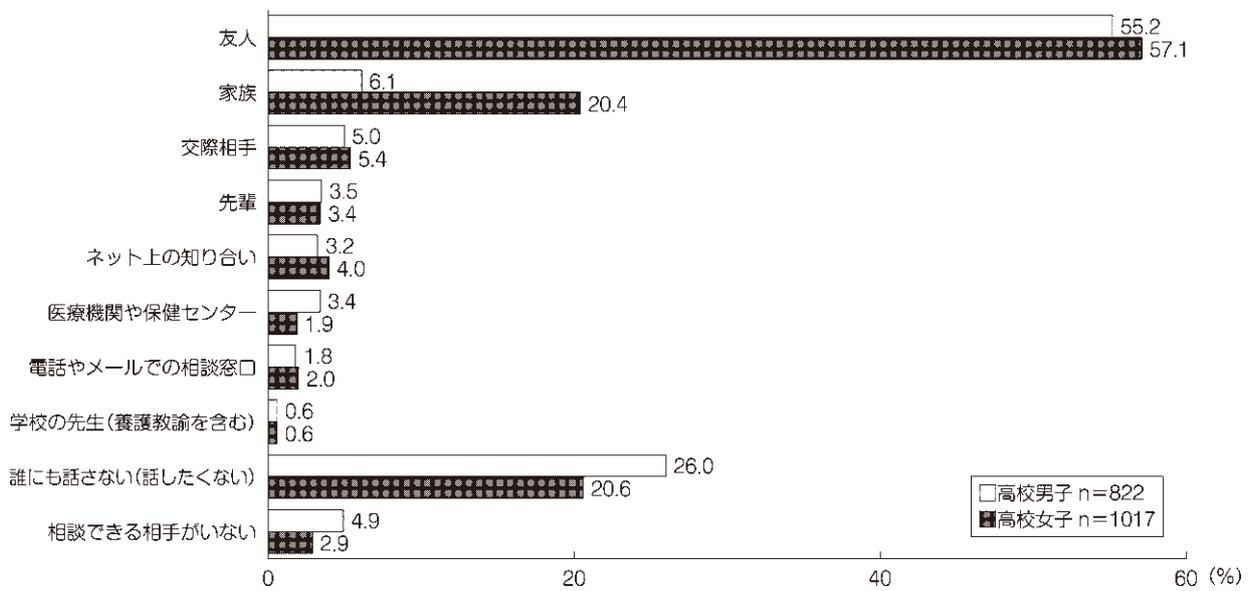
中学生では割合の高い順に、男子は「友人」「インターネット」「先輩」、女子は「友人」「授業や教科書や講演会」「雑誌等(マンガを含む)」となっている。平成20年との比較では、「インターネット」は男子18.6%(H20)→29.0%(H26)、女子16.6%(H20)→19.0%(H26)であり、「雑誌等(マンガを含む)」は男子12.7%(H20)→13.1%(H26)、女子31.5%(H20)→21.9%(H26)となっている。「授業や教科書や講演会」「学校の先生」を合わせた回答は男子27.0%(H20)→26.4%(H26)、女子33.8%(H20)→33.9%(H26)となっている。

高校生では割合の高い順に、男子は「友人」「インターネット」「授業や教科書や講演会」、女子は「友人」「授業や教科書や講演会」「インターネット」となっている。平成20年との比較では、「友人」は、男子60.8%(H20)→67.0%(H26)、女子52.4%(H20)→54.2%(H26)であり、「インターネット」は男子39.5%(H20)→55.5%(H26)、女子20.7%(H20)→29.8%(H26)となっている。「雑誌等(マンガを含む)」は男子17.9%(H20)→13.5%(H26)、女子31.5%(H20)→25.9%(H26)となっている。「授業や教科書や講演会」「学校の先生」を合わせた回答は男子32.4%(H20)→28.3%(H26)、女子44.2%(H20)→47.0%(H26)となっている。

【中学生】 10 あなたは性に関する悩みや問題をもったときに、誰に相談しますか。(複数回答可)



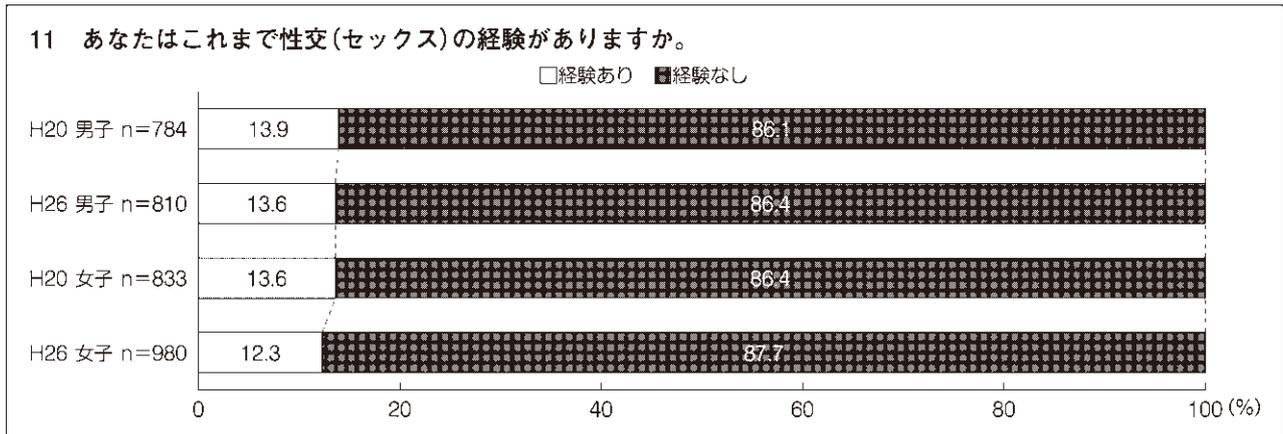
【高校生】 10 あなたは性に関する悩みや問題をもったときに、誰に相談しますか。(複数回答可)



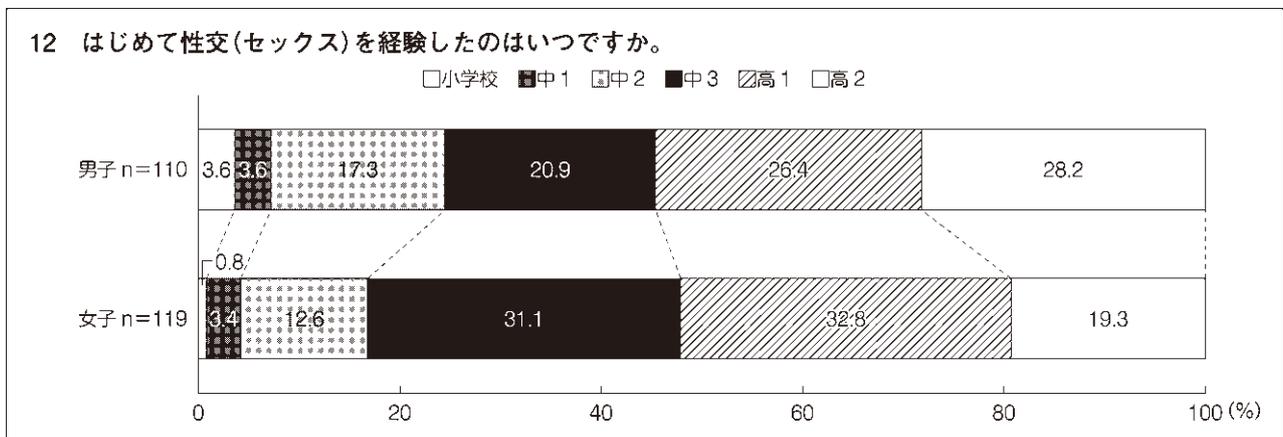
中学生では割合の高い順に、男子は「友人」「誰にも話さない(話したくない)」「家族」、女子は「友人」「家族」「誰にも話さない(話したくない)」となっている。平成20年との比較では、「家族」は男子14.5%(H20)→12.3%(H26)、女子29.3%(H20)→28.0%(H26)、「誰にも話さない(話したくない)」は男子31.6%(H20)→24.7%(H26)、女子23.4%(H20)→22.2%(H26)、「相談できる相手がいない」は男子5.6%(H20)→5.4%(H26)、女子3.3%(H20)→2.2%(H26)となっている。

高校生では割合の高い順に、男女とも「友人」「誰にも話さない(話したくない)」「家族」となっている。平成20年との比較では、「誰にも話さない(話したくない)」は男子28.5%(H20)→26.0%(H26)、女子22.9%(H20)→20.6%(H26)、「家族」は男子8.3%(H20)→6.1%(H26)、女子23.9%(H20)→20.4%(H26)、「相談できる相手がいない」が男子5.8%(H20)→4.9%(H26)、女子2.6%(H20)→2.9%(H26)となっている。

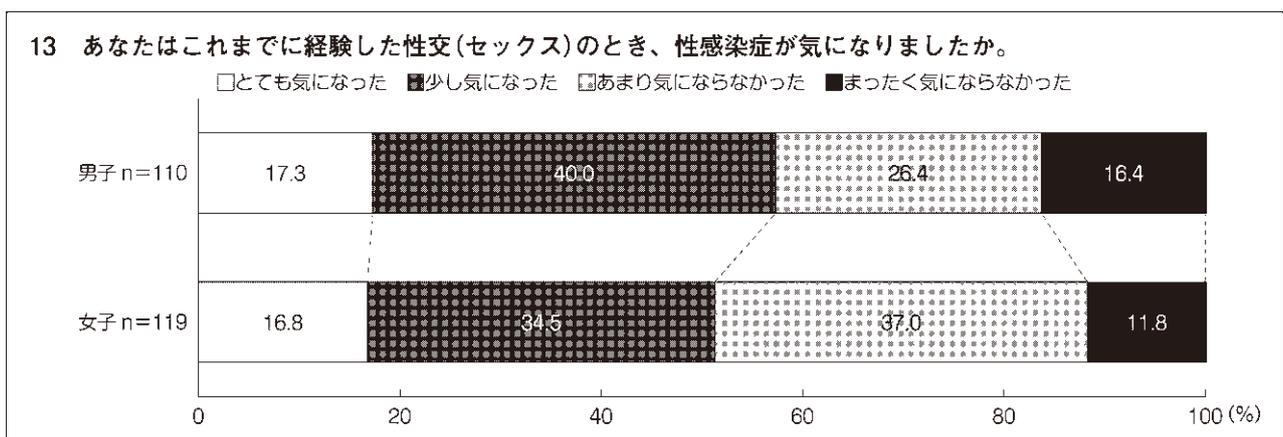
高等学校のみの調査項目



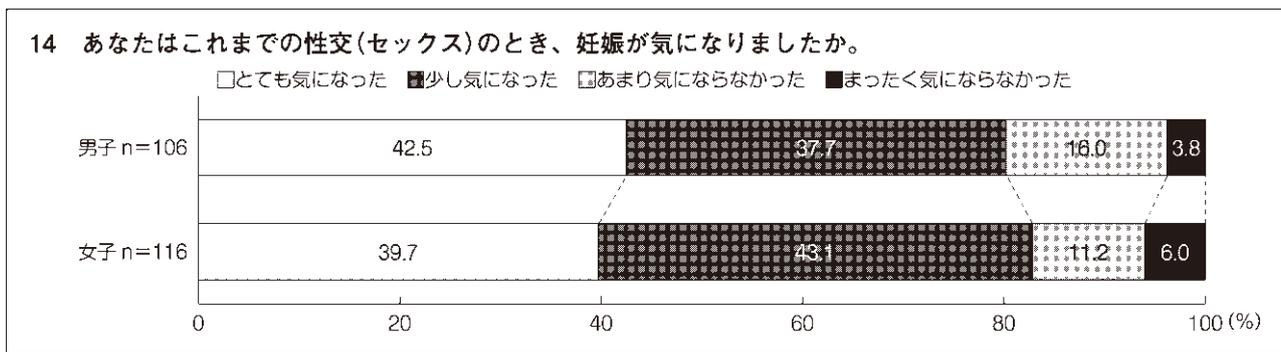
「ある」の回答は、男子13.6%、女子12.3%となっている。平成20年との比較では、男子13.9% (H20) → 13.6% (H26)、女子13.6 (H20) → 12.3% (H26) となっている。



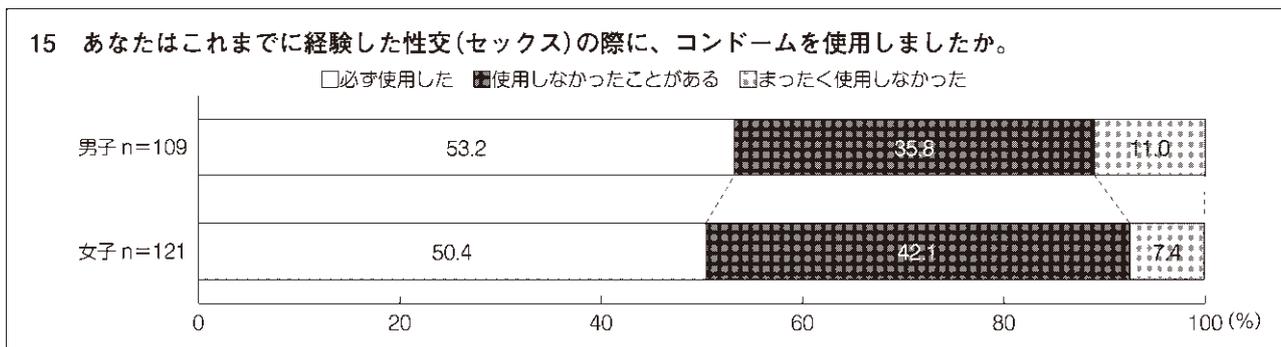
割合の高い順に、男子は「高校2年」28.2%、「高校1年」26.4%、「中学3年」20.9%であり、女子は「高校1年」32.8%、「中学3年」31.1%、「高校2年」19.3%となっている。



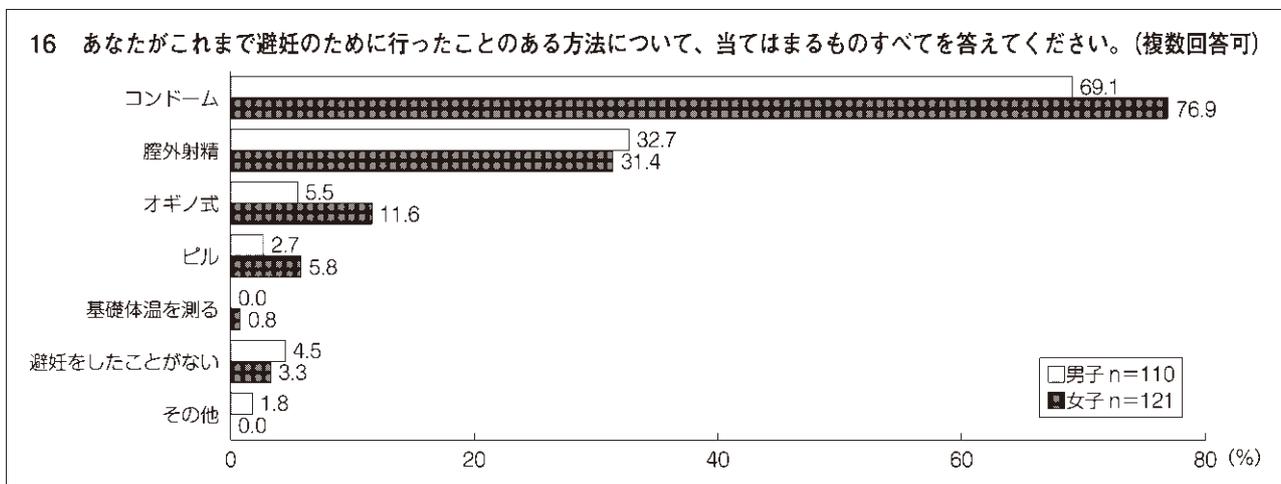
「とても気になった」「少し気になった」を合わせた「気になった」の回答及び平成20年との比較では、男子55.3% (H20) → 57.3% (H26)、女子58.3% (H20) → 51.3% (H26) となっている。



「とても気になった」「少し気になった」を合わせた「気になった」の回答及び平成20年との比較では、男子81.7% (H20)→80.2% (H26)、女子92.1% (H20)→82.8% (H26) となっている。

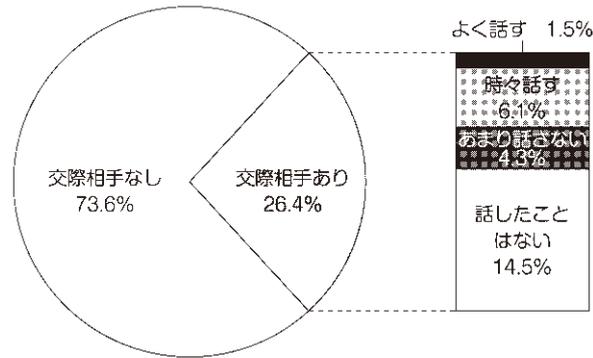


「必ず使用した」の回答及び平成20年との比較では、男子51.5% (H20)→53.2% (H26)、女子54.8% (H20)→50.4% (H26) となっている。



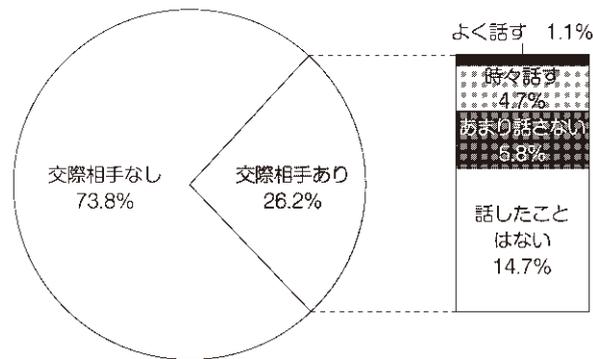
割合の高い順に、男女とも「コンドーム」「膣外射精」となっている。「コンドーム」の回答及び平成20年との比較では、男子86.7% (H20)→69.1% (H26)、女子93.8% (H20)→76.9% (H26) となっている。「膣外射精」の回答及び平成20年との比較は、男子28.6% (H20)→32.7% (H26)、女子29.2% (H20)→31.4% (H26) となっている。

17 (男子)あなたは現在、交際相手と避妊について話し合いますか。当てはまるものを全て教えてください。(新)



n=739

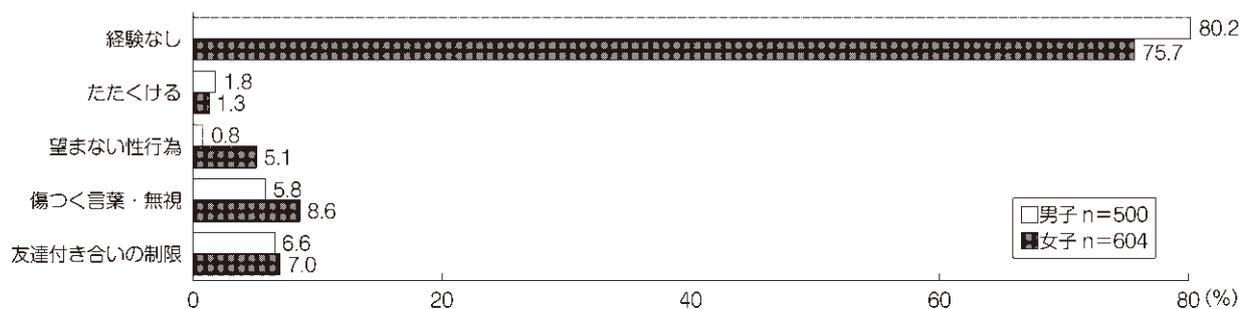
17 (女子)あなたは現在、交際相手と避妊について話し合いますか。当てはまるものを全て教えてください。(新)



n=920

「話したことはない」の回答は、男子14.5%、女子14.7%となっている。

18 あなたはこれまでに交際相手から次のようなことをされた経験はありますか。当てはまるものを全て教えてください。(複数回答可)

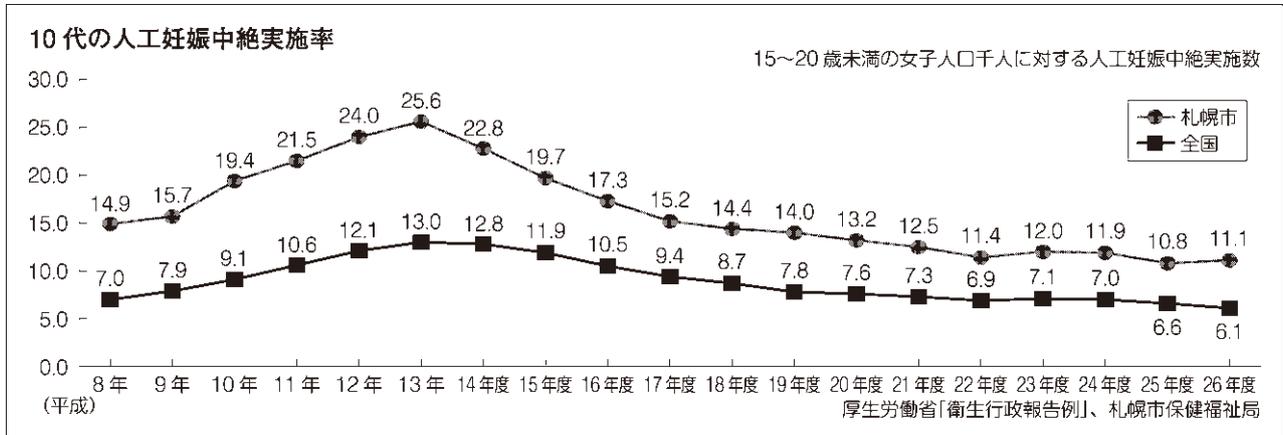


「友達付き合いの制限」の回答は、男子6.6%、女子7.0%、「傷つく言葉・無視」は、男子5.8%、女子8.6%であり、「望まない性行為」と回答した女子は5.1%となっている。

人工妊娠中絶及び性感染症の罹患に関する統計資料（札幌市保健福祉局保健所提供）

1 札幌市における人工妊娠中絶の状況

(1) 10代の人工妊娠中絶率

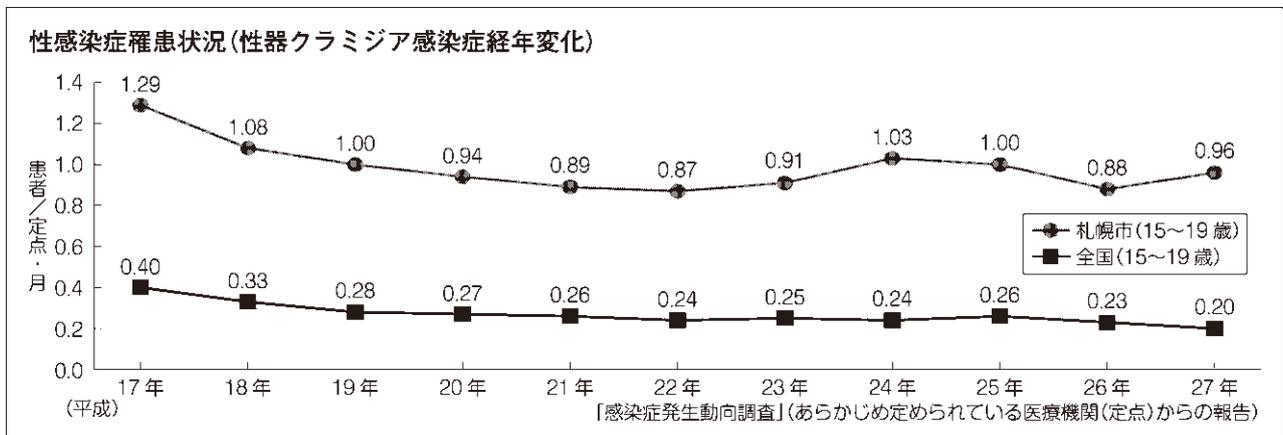


(2) 人工妊娠中絶届出数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総数	7,500	7,172	6,792	6,299	5,825	5,390	4,909	4,677	4,608	4,031	4,182
20歳未満	839	709	655	629	578	546	492	516	506	461	468

2 札幌市における性感染症の罹患状況

・性器クラミジア感染症



3 保健福祉局提供データのリンク先

・エイズ

<http://api-net.jfap.or.jp/status/>

http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/f04aids/f04_14genjyo.html

・人工妊娠中絶

http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/14/dl/kekka6.pdf

<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f9sonota/eiseinenpou2013.html>

・性器クラミジア感染症罹患状況

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html>

<http://www.city.sapporo.jp/eiken/infect/std/stdtbl.html>

性同一性障害に関する相談が可能な札幌市の窓口

※原則的に、札幌市在住・在学・在勤の方を対象として相談を受け付けています。また、いずれの相談窓口も、性同一性障害専門のものではありません。

札幌こころのセンター

「こころの健康づくり電話相談」では、こころの健康に関する相談を電話で受け付けています。なお、かかりつけの精神科等がある場合は、まず、そちらにご相談ください。

- ・電話番号：011-622-0556
- ・相談日時：月曜日～金曜日 9時～17時

札幌市児童相談所

保護者などからの相談や連絡を受け、18歳未満の子どもに関するさまざまな問題解決のためのお手伝いをしています。

- ・電話番号：011-622-8630
- ・相談日時：月曜日～金曜日 8：45～17：15（祝日・年末年始を除く）

札幌市子どもの権利救済機関子どもアシストセンター

友人・親子関係など、子どもに関わるさまざまな悩みの相談に応じ、いじめなどの「子どもの権利侵害」から救済を図る機関です。子ども（原則18歳未満）に関することであれば、子ども・大人どちらからでも相談できます。

【大人用】電話番号：011-211-3783

【子ども専用】電話番号：0120-66-3783（フリーダイヤル）

- ・電子メール：assist@city.sapporo.jp
- ・面談：札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館6階
- ・相談日時（電話・面談）：月曜日～金曜日 10時～20時／土曜日 10時～15時（祝日・年末年始を除く）

教育委員会少年相談室

少年相談室では、学校生活を送る上での悩みなどについて、子どもや保護者からの相談を受け付けています。

- ・電話番号：0120-127830（フリーダイヤル）
- ・相談日時：月曜日～金曜日 9時～20時（祝日・年末年始を除く）

札幌市教育センター教育相談室

不登校や発達などに心配のある、18歳未満の子供やその保護者、教員などに対して、電話及び面談による教育相談を行っています。面談の場合は電話予約が必要です。

- ・電話番号：011-671-3210
- ・ファクス番号：011-671-3232
- ・相談日時：月曜日～金曜日 8時45分～17時15分（祝日・年末年始を除く）

市民の声を聞く課「人権相談」

うわさや暴言、差別、いじめ、相隣関係などについて、相談を受け付けています。

- ・電話番号：011-211-2075
- ・受付時間：木曜日 8時45分～11時30分
- ・相談時間：木曜日 9時～12時

※ご相談の受付は、上記時間内で市民の声を聞く課窓口にて行っています。

※受付は先着順です。希望者多数の場合は、受付時間内であっても、受け付けできないことがありますので、ご了承ください

引用・参考文献

- ・学校性教育発達段階に即した指導法 監修 川畑愛義・大塚正八郎 大修館書店 1986.6
- ・学校における性教育その共通理解のために 田能村祐麒著 学校図書 1994.7
- ・学校における性教育の考え方、進め方 文部科学省 ぎょうせい 2005.6
- ・新訂性教育の考え方進め方 田能村祐麒著 学校図書 1995.11 2005.11
- ・性教育新・指導要項解説書 日本性教育協会／編 小学館 1998.9
- ・性教育の授業の組み立て方 田能村祐麒著 学校図書 1990.7
- ・性教育マニュアル 監修 間宮 武・松本清一 大成出版社 1992.5
- ・性の指導総合事典 監修 江口篤寿 ぎょうせい 1992.1
- ・命はどこから来たの？ 9歳までに伝える「誕生」のしくみ 大葉ナナコ著 情報センター出版局 2005.6
- ・研究紀要「根っこ」第13～16号 札幌市立幼稚園教育研究協議会 2001.3 2002.3 2003.3 2004.3
- ・幼児のこころとからだをみつめて 全国国立大学附属学校連盟 養護教諭部会 幼稚園グループ
- ・からだのしくみ事典 浅野伍朗（監修） 成美堂出版 2005.7
- ・展示式性教育教材（第1巻） 松岡 弘（代表） ぎょうせい 1993.12
- ・東京都教育委員会「性教育の手引き～高等学校編～」 2005.3
- ・東京都教育委員会「性教育の手引き～盲・ろう・養護学校編～」 2005.3

※指導事例において資料として使用した文献等については、各指導事例の中に記載している。

作成委員一覧

委員長	北都中学校	校長	富川 浩
副委員長	あつべつきた幼稚園	園長	笹山 雅司
	発寒西小学校	教頭	高橋 直之
	真駒内曙中学校	教頭	荒島 晋
	開成高等学校	副校長	網谷 和彦
	北翔養護学校	教頭	村岡 章子
委員	はまなす幼稚園	養護教諭	宮崎 真紀
	ひがしなえぼ幼稚園	教諭	関戸 利加
	手稲中央幼稚園	教諭	櫻井 有紀
	北園小学校	教諭	吉野 令欧
	平岡公園小学校	教諭	山田 健
	伏古北小学校	養護教諭	松田 朋恵
	幌南小学校	養護教諭	土橋 弘美
	太平小学校	教諭	中野 敬一
	茨戸小学校	教諭	山田 了己
	あいの里東中学校	教諭	秋川 まどか
	柏中学校	教諭	武岡 綾乃
	中島中学校	教諭	鈴木 真之介
	常盤中学校	教諭	高橋 松志
	中央中学校	養護教諭	佐藤 郁子
	平岸高等学校	教諭	白川 千尋
	清田高等学校	教諭	猪股 貴則
	藻岩高等学校	教諭	高木 大作
	開成高等学校	養護教諭	西野 昭子
	啓明中学校	養護教諭	歌川 瑞紀
	幌東中学校	養護教諭	小林 八重子
	篠路中学校	養護教諭	川嶋 洋子
	平岸中学校	養護教諭	小川 美和
	平岸高等学校	養護教諭	今井 幸
	藻岩高等学校	養護教諭	萬徳 雅美
	あやめ野小学校	教諭	遠藤 享
	東栄中学校	教諭	金子 裕
	豊明高等養護学校	教諭	高杉 美和
講師	北海道教育大学札幌校	教授	渡部 基
事務局	札幌市教育委員会教育課程担当課	指導主事	大井 一雄
		指導主事	山下 敦史
	札幌市教育委員会保健給食課	指導主事	鈴木 景子

指導資料 性に関する指導の手引

平成 28 年(2016 年) 3 月発行

編集 札幌市教育委員会教育課程担当課

発行 札幌市教育委員会

印刷 株式会社アイワード